



日本英文学会北海道支部 道東ブロック企画

# ロマン主義時代のイギリス文学とイタリア・オペラ ～ウォルター・スコットとガエターノ・ドニゼッティ～

【ゲスト講師】



鴨川 太郎

(バリトン)

北海道教育大学釧路校教授

【企画・講師】

上石実加子

北海道教育大学釧路校准教授

【主催】

日本英文学会北海道支部

【共催】

北海道教育大学釧路校

【後援】

釧路市教育委員会

イギリス文学はこれまで多数の名曲オペラに題材を提供してきました。16世紀末にフィレンツェでオペラが誕生し、オペラ草創期からバロック時代までのシリアスなオペラは、ギリシャ・ローマ神話や古代の叙事詩などに題材を求めてきましたが、18世紀後半から、イギリス文学もその題材になり始めます。例えば、19世紀に活躍したイタリア・オペラ界の覇者ドニゼッティは、イギリスのロマン派詩人で作家のウォルター・スコットの小説を題材にしたオペラを複数作曲しています。

スコットの原作は忘れ去られていくものの、ドニゼッティのオペラは今なお頻りに上演され愛好されています。この企画では、オペラの専門家・鴨川太郎教授にご登壇いただき、スコットの原作を超えたドニゼッティのイタリア伝統オペラの美学についてお話を伺います。

【日時】

2017年1月21日(土)

午後2時(入場無料)

【場所】

北海道教育大学釧路校

304教室



アクセス 釧路駅より  
徒歩 25分 タクシー約 8分

お問い合わせ

日本英文学会北海道支部

上石

ageishi.mikako@k.hokkyodai.ac.jp